

シベリアプロジェクトWS2012 *Siberia Project Workshop*
2012年7月6日(金)～7日(土) セミナー室3・4

7月6日(金) 13:00～15:30

① 気象・衛星データからみたトナカイ動態

(気象植生環境とトナカイおよびトナカイ生業の動態との関連に着目)

(どこまで関連が導き出せるか、を議論)

(トナカイ牧民の環境意識調査方法についても再度議論)

座長：立澤史郎

発表者：立澤史郎・山本一清・山口 靖・吉田 睦

立澤史郎 (北 戎 ・ I. オクロプコフ (ロシア・北方圏生物問題研究所))

テレメトリデータからみた野生トナカイの生息地利用特性

山本一清 (名 大)

広域気象・植生グリッドデータの構築状況 — NDVI と森林変化域の解析結果を中心に —

山口 靖 (名 大)・西岡 聡 (名 大)

LANDSAT 画像による植生変化の解析の試行と問題点

吉田 睦 (千葉大)・中田 篤 (北方民族博物館)

サハ共和国のトナカイ牧畜の実態と気象・植生データとの関連性

7月6日(金) 16:00～18:00

② 我が国のエネルギー戦略と北極海航路

(北極海の海氷面積変動と航路活用可能性に着目)

座長：檜山哲哉

発表者：大島和裕・杉本 侃・山口 一 (招待講演)

大島和裕 (地球研)

北極の海氷変動と気候変動に関するレビュー

杉本 侃 (欧亜総合研究所)

北極圏の資源開発・航路利用と我が国のエネルギー戦略

山口 一 (東 大)

北極海航路の利用促進に向けて

7月7日(土) 9:30～11:00

③ シベリア社会の脆弱性と適応

(サハや日本での事例を北米・北欧での事例と対比)

(到達困難地域、交通途絶をキーワードに議論)

座長：高倉浩樹

発表者：石井 敦・奥村 誠

石井 敦（東北大）

適応・脆弱性研究の系譜：研究の方法論に則した分類

奥村 誠（東北大）

交通途絶と地域孤立問題の構造：籠城が災害に、自立が孤立に変わるとき

7月7日(土) 11:30~12:30

④ 総合討論と今後の予定

座 長：檜山哲哉

議 題：1) WS のトピックスに関わる議論

2) 出版計画

3) 今年度の予定